

## Ⅲ 市政に関する意見、要望等

### (i) 総務財政常任委員会所管

防災に関すること／長期総合計画に関すること／地域活動の推進に関すること／協働のまちづくりに関すること／デマンドタクシー・地域交通に関すること／定住促進いらしゅいプランに関すること／新ごみ処理施設（仮称）仙南クリーンセンター建設に関すること／グリーンフィールド市交流 20 周年記念事業に関すること／道の駅に関すること／北方領土に関すること／広報・広聴に関すること／行財政改革・事務改善に関すること／予算やその他の財政に関すること／市有財産に関すること／年始交歓会に関すること

### (ii) 教育厚生常任委員会所管

ごみの減量化・有料化に関すること／地域医療・小児医療に関すること／介護・福祉・高齢化対策に関すること／福祉まつりに関すること／児童館に関すること／小・中学校に関すること／自治センターに関すること／市民センター・図書館に関すること／

### (iii) 産業建設常任委員会所管

有害鳥獣駆除に関すること／角田ブランドに関すること／たい肥センター「農業の館」に関すること／農業に関すること／商工業、観光等に関すること／道路、公園等に関すること／除雪に関すること／町尻土地区画整理組合に関すること／企業誘致に関すること／下水道に関すること／上水道に関すること



## No. 1

## 意見・質問・要望等

消防積載車の格納庫の設置に関し、用地取得が困難で未整備である。町中では、道路沿いの用地の市民からの寄付は期待できない。力添えをお願いしたい。【角田地区】

## 当日の回答

公園であっても消防車両格納庫建設に対しては、管理者が許可すれば建設可能なはずですが。

## 今後の取組み

角田地区の街中に設置されている公園の多くは、都市公園法が適用される「都市公園」であります。この法律は、都市公園の設置及び管理に関する基準を定めており、都市公園に設置できる施設を規定していますが、この基準には消防ポンプ積載車格納庫は含まれておりませんので、都市公園内への設置は出来ないものと判断しております。

格納庫の用地については、市有地を優先的に探していますが、まだ見つけられない状況であり、消防団員の方々にも適地を探していただいているところであります。市有地だけでなく個人所有地も対象として、引続き用地の取得に取り組んでいきますので、ご協力よろしくお願いたします。【回答:防災安全課】

## No. 2

## 意見・質問・要望等

市長は交流人口100万人を目指すというが、議員は総合体育館近くに計画するという賑わい交流拠点の詳しい構想内容は言えないのか。【桜地区】

## 当日の回答

第5次長期総合計画の中間報告は議員も聞いてはいます。しかし、市民からの要望も数多く出たためなのか議会への報告も延びていますので、現時点での詳しい内容はお答えできません。郷土資料館周辺を中心とした「まちなか交流拠点」と中央公園周辺を中心とした「賑わい交流拠点」の構想は、長期総合計画に入っており検討しています。

## 今後の取組み

現在策定中の第5次長期総合計画において、交流人口100万人を目指す目標を掲げており、そのための主要な施設として、総合体育館周辺に「賑わいの交流拠点施設」の整備を計画しているところです。内容については、今後、民意を聞きながら詰めていきますが、コンセプトとしては地元農産物などの販売や観光情報を発信できるようなものを想定しており、「道の駅」に似たような機能も含まれるものと思えます。【回答:政策企画課】

## No. 3

## 意見・質問・要望等

長期総合計画の過去のものを見ると、人の意見は反映されていない。アンケートは角田市はどのようにしているのか。プロにアンケートのとり方、数値を確認してもらい価値あるものにしてほしい。過去に消防団のアンケートをとったことがあるが、一切公表されていない。【角田地区】

## 当日の回答

各常任委員会でもしっかり検討して進めていきたい。長期総合計画の審議委員会を16回開催して慎重に審議していく。

## 今後の取組み

第5次長期総合計画の策定にあたり多くの民意を拾うため、21年9月に市民3,000人を対象に、まちづくり市民意識調査を行いました。集計については、専門の業者に委託し取りまとめましたが、その内容は5次計画に反映させながら策定してきたところです。

なお、集計結果等につきましては、市の広報やHPなどに概要を掲載しているところです。【回答:政策企画課】

## 意見・質問・要望等

今、長期総合計画、これからの10ヶ年計画を皆で立案していることは皆さんご存知だと思います。枝野でも10月4日に市長をはじめトップが来てまちづくりを説明して、20分や30分で意見はでない。後で皆さんから区長を通してこういうもの入れて欲しいというものを総括した。総括したものを10月20日付けで市長に出してありますから、後でご覧になって下さい。それは枝野地区としてまとめたものを全部入っています。

例えば一つ、人が集まって賑わいのあるまち、協働・観光・交流の問題、これは7点あります。事例を一つとると、絵に書いた餅にしないで下さい。長期総合計画もただ書くだけではだめですよということも出てるし、角田衛生センター跡地の活用、どうするんでしょうか。

角田市は宇宙のまちなので、宇宙の博物館・科学館作れとか、総合体育館前、構想に入りましたが道の駅構想、角田の物産が全部全て集まって、しかもその食材で休めて食べる場所とか。あのくらい交流人口が来ているのだから、スポーツ公園界限に、そういったものを盛り込んでいます。農業の問題、これも入っています。

地球温暖化に対しての取組みを角田市もやったらいいんじゃないか。今度みやぎ環境税が取られる。県から少しバックアップしましょうという制度もある。それをどのようなかたちで解決しますかと、これも入っている。保険・医療・福祉この問題も入っている。これは6つ入っている。

いらっしゃいプランでやってるけれど、ただ来いだけではこない。若い人達は、何が一番心配かというやっぱり教育と小児医療の問題なんだ。中核に行ってくださいだけでは若い人來ない。小児医療の問題そういったものも入れて下さい。というお願いをしています。

個性を育むまち、生涯学習・学校教育・スポーツこういったものも4点出ています。

安全で安心な快適なまち、と計画がなっているのに、これも7点出てます。枝野区民の皆さんの声がね。継続可能な行政、これは議員に対するお願い事項、これも入っている。

最後に長期総合計画に入れてもらうのは、角田市だけの単独の事業の計画がほとんどだった。枝野の場合は、一番心配なのは大水害、小斎と枝野の境。一番弱い。そこの堤防、あそこが切れたら隈東全滅、一番弱いあそこが、大洪水の時、堤防歩いてみて下さい、揺れるから。西側の水位と東側の水位と1m50位違うから、ぶつかってくるから、消防団の人も怖くて行けない、という問題。例えば国にお願いして組み入れる事項、県にお願いしていれてもらう事項、これは県道やライフラインの整備、国・県・市と一緒に組んで組み入れてもらう問題、という問題を入れてありますから、後で市長から写しをもらって下さい。

・道路整備の問題、これは別途出しますとあって、うちの6区区長が中心となって全部今までの陳情・要望も取りまとめて、新たなものも各区から出たからそれも入れて出しましたから、それも精査してもらおう。これは順位付けてもらってけっこうですと言ってますから。後で写しをもらって下さい。最後の結びは、皆が心に思っているのだけれど、一生懸命汗流して苦労した人が本当に報われる市政であって欲しい。計画は挫折しない計画、市民を引っ張っていく計画、是非それを期待したい。ということが結びで出てますから宜しくご検討・確認してもらいたい。【枝野地区】

## 当日の回答

今回、基本的な考え方が今までの長期総合計画と言うのは国とか県とかに要望するための一つのスローガンを載せていたんですが、今回はまず、市民の皆さんの声を反映するのが大きな柱のひとつになっています。それと数値的目標、こういうことをやりますよ、ということも明確にしていくような長総になっております。長総の資料に枝野地区の分が出てないので早急に市からもらって長総に組み込めるものは議会としても努力したいと思っています。国・県への要望、特に国です。ね枝野地区においては前原の護岸の問題は大きな課題だと思っています。いつまで国に要望・陳情をしていくか目標を立てて、そしてやっていかないと。ただ単にスローガンだけ上げて結果10年たったら国が財政厳しいからではいけない。行程表まで市民の皆さん

んにチェックできるような基本計画にして参りたいと考えております。

**今後の取組み**

現在策定中の第5次長期総合計画では、主要な事業に5年後、10年後の目標水準を設け、定量的に進行管理をできる仕組みにしています。また、市民と行政の協働のまちづくりを進める上で、市民との役割分担も明確にしたところです。  
 なお、国県道の整備促進や、河川の護岸改修などの要望事業を進める上で、国や県に依存しなければならない面もありますので、これらの早期完成のために関係機関への要請を計画しているところです。【回答:政策企画課】

No. 5

**意見・質問・要望等**

ごみ処理等対策調査特別委員会の調査報告の中で、「③将来的に市北西部地区が振興地域となりうる」とあるがどうか。【横倉地区】

**当日の回答**

角田市の工業振興地域を10か所選定し、その後、2か所(企業誘致候補地)に絞りました。これまで、中島工業団地は1区画除いて、すべて売れてしまいました。企業誘致にあたっては、一定の工業団地化の整備が必要で、その1つの候補地が市北西部地区(毛萱字西ノ入地区周辺地区)です。角田山元トンネルが開通しましたが、藤尾地区も工業団地化して整備を図る案が2か所目となる予定です。

**今後の取組み**

現在、市では10か年のまちづくり計画の策定を進めています。この中で、広域的な幹線道路に結節し、高速道路へのアクセス性の高い地域として、県道角田山下線の角田山元トンネル手前の地域と市道君萱毛萱線の毛萱トンネル手前南側を工業振興ゾーンとして企業集積を図りたいと考えています。【回答:政策企画課】

No. 6

**意見・質問・要望等**

第5次長期総合計画について、市の広報に出ていたが、不十分だ。その審議経過をもう少し、市民に分かるような形で知らせていくことを考えていないのか。【横倉地区】

**当日の回答**

これまで9回審議会を開催。来年2月頃正式に答申される見込み。最終的には議会の議決事項となる。そのために特別委員会を設置しました。その一連の取組み、提案、総括質疑、議員間討議各常任委員会単位で専門的に審議。それらの委員会報告。その審議日程と傍聴はすべて可能です。その特別委員会の議事録の閲覧の仕組みも含め検討し、オープン化したい。向こう10年間の骨組ですから、要望として受け止めます。運営の中で取り組んでまいります。その日程案を予算が取れば全戸に配布していきたいと思っております。

**今後の取組み**

第5次長期総合計画の策定にあたり、21年12月に民意を幅広く取り入れるために市民30名からなる角田市長期総合計画審議会を設置し、これまで10回の会議を開催してきたところです。  
 策定内容等については、節目、節目で市の広報に数回にわたり概要を掲載してきたところですが、ご指摘の審議経過については、HPに会議時の使用資料も添付し、詳細な記録を載せてますので、ご覧頂きたいと思っております。【回答:政策企画課】

No. 7

**意見・質問・要望等**

行政区長をしているが、配布物が月1回になり、1度に沢山配らなければならない。受け取る区民も1回では読み切れない。忙しいと見るのが大変だ。前の様に1日と15日の2回にした方がいいと思う。広報に載せるからとチラシも少なくなったが、見落とす人がいる。みんなに分かるようにしてほしい。【西根地区】

**当日の回答**

ご意見として伺います。

**今後の取組み**

チラシや配布日の件も一長一短があり、現在の状況としておりますが、更に検討していきたいと思っております。【回答:総務課】

No. 8

**意見・質問・要望等**

①今年5月頃、北郷の各区長さんから北郷地区振興協議会のハード事業要望として75件ほど出されたが、政策企画課の指導により重点要望として3件に絞り込んで提出したので来年度予算審議の際にはよろしく願いたい。【北郷地区】

②各地区で振興協議会が立ち上がっているが、地区毎に要望を絞り込んでほしいと言われた。3つばかり出したが、予算の関係もあると思うので、いつ実現できるのか、雲をつかむような話で、今後どうなるのか、どんな方針なのか聞きたい。【西根地区】

**当日の回答**

①長期総合計画にも関わる事業かもしれないので調査して返答します。

②財政の関係もあるので、角田市全体での優先順位を検討してきます。議会としては、全市民にとって重要性、緊急性のあるものを常任委員会で検討していきます。各地区から集まった要望を資料として3月予算で検討、または長期総合計画の中に反映させます。

**今後の取組み**

平成18年度から市民と行政の協働によるまちづくりがスタートし、各地区振興協議会では、地区の課題を解決するための地区計画策定作業に取り組んで参りました。一方、地区内の道路改良や排水路の整備、照明灯の設置など生活基盤の整備や維持管理などの陳情・要望につきましては、なかなか対応できない状況が続いてきたところであります。

各地区では、地区計画が出来上がり様々な分野で実践活動を展開している中で、地区の陳情・要望につきましても、地区の重要な要望事業であり、至急、対応しなければならないと考えまして、これまで提出していただいた陳情・要望書を確認するとともに内容を整理した上で、各地区振興協議会の方々と相談をいたしました。

地区の要望事業をできる限り実現するため、過去の陳情・要望も含め、事業量がおおきなハード分道路改良や道路舗装そして排水路整備の事業について、3つ程度に絞り込んでいただくよう協議を重ねて参りまして、11月下旬までに各地区振興協議会から地区要望書を提出していただきました。

地区の要望事業については、第5次長期総合計画の実施計画に反映し、長期総合計画の計画期間である10年間の中で実現できるよう努力して参りたいと思っております。限られた予算の中ではありますが、各地区から優先度の高い要望事業を各地区1つずつ平成23年度から事業に着手できるよう目指して取り組んでいきたいと考えております。

なお、各地区の3つ程度に絞り込んだ地区の要望事業の実施計画案について、1月中に各地区振興協議会へ説明する予定となっております。【回答:政策企画課】

No. 9	
<b>意見・質問・要望等</b>	自治基本条例の検討段階で、地区振興協議会と行政区の位置づけをはっきりして欲しい。【横倉地区】
<b>当日の回答</b>	要望として承ります。
<b>今後の取組み</b>	平成18年度に市民と行政の協働によるまちづくりがスタートし、地区の課題を協議し、解決に向けた意思決定機関として、地区の住民自治組織である地区振興協議会を9地区に立ち上げていただき、地区計画の策定やまずは自分たちでできることから地区の課題解決の実践活動を実施している状況です。自治基本条例については、実施的な住民参加や住民自治を積み上げたのちに条例制定をして行くことが必要ではと考えております。検討段階においても、市民と行政が一緒に考え、角田市には、本当に条例が必要なのか、必要であれば、本当はどんな条例が必要なのかなどの議論が必要です。必要であれば、自治とは何であるかを再定義し、角田市における市民の位置や役割を再構築し見直すものと考えられ、自治の理念と共に、それを実現するための制度や仕組み、そして、関係者の責任と役割等の中で地区振興協議会と行政区の位置づけに関しても市民と行政と一緒に議論していく必要があると考えます。【回答:政策企画課】
No. 10	
<b>意見・質問・要望等</b>	年寄りや、亘理や大河原の医院に行くのが大変。【角田地区】
<b>当日の回答</b>	ラビットくんを中核病院まで延長することも検討しなければなりません。
<b>今後の取組み</b>	デマンド型乗合タクシー(ラビットくん)の運行については、市外への乗り入れなどを含めた利便性向上に向けて今後調査検討する。【回答:政策企画課】
No. 11	
<b>意見・質問・要望等</b>	人口減少に歯止めをかけ、増加策をお願いしたい。【藤尾地区】
<b>当日の回答</b>	工場誘致が必要であり、そのためには、待っているのではなく積極的にPRすることが大事です。
<b>今後の取組み</b>	第5次長期総合計画の計画最終年度における本市の推計人口は29,500人程度まで下がる見込みが出ているところです。第5次計画の大きな目標の一つに定住人口3万人は維持することを掲げてます。そのための具体的な手法としては、17年度から始めた「定住促進 角田いらっしやいプラン」に基づく住宅建設への助成制度などにより一定程度の新規転入者を呼び込んできたところです。 今後もこうした制度充実を図るとともに、医療や教育の充実、企業誘致などの総合的に施策を講じて人口確保策を進めていきたいと思っております。【回答:政策企画課】
No. 12	
<b>意見・質問・要望等</b>	ごみ焼却施設の炉の問題で、熱源をどの様に利用するのか。タービンを回して東北電力に売ってはどうか。【東根地区】
<b>当日の回答</b>	タービンを回して発電している施設がほとんどだと思います。発電された電力は、施設利用で6～7割、周辺施設で利用しているようです。温水の利用については、地域にあった活用となると思います。
<b>今後の取組み</b>	ごみ焼却施設は、ごみを焼却する際に発生する熱を最大限利用するエネルギー供給施設と位置付けており、余熱については、施設内で利用する電気に利用するとともに、規模にもよるが福祉施設等などへ温熱供給できるものと考えているが、具体的には今後、検討することになっている。【回答:生活環境課】

## 意見・質問・要望等

- ①ゴミ処理施設は西根地区に決まったのか。【藤尾地区】
- ②私も現地を見ましたが、最適地だと思います。【藤尾地区】
- ③角田市議会で新ごみ焼却場の建設地を毛萱字西の入地区に決定したのは、何十億円もの事業費の差も加味してのことなのか。【角田地区】
- ④ゴミ処理施設はどんなものができるのか。機種によっては、現在行っている分別の仕方も変わるのではないのか。【東根地区】
- ⑤新ごみ処理場の建設予定地については、すべて順調に進んでいるようだが地元住民の反対は無いのか。【北郷地区】
- ⑥今度のクリーンセンターは100億円かかる。きちっとしたものを。後悔の無いクリーンセンターを作ってもらおうというのが大事。【枝野地区】
- ⑦(仮称)仙南クリーンセンターの建設規模・予算などかなり高額となっているようだが民間企業の焼却炉など参考に無駄のない建設を進めてほしい。【角田地区】
- ⑧(仮称)仙南クリーンセンターの件、大友市長の提案が最終となるのですか。【小田地区】
- ⑨今度のクリーンセンターは焼却のみですか。最終処分場ではないのですか。【小田地区】
- ⑩次世代型の最終残渣が出ないようなものを研究調査し、反映して欲しい。議員は焼却炉に対する勉強をして欲しい。メーカーの言いなりではなく、視察研修なども、ただ行って見てくるだけでなく、それを角田に反映させなければならない。地元補償についても勉強して反映させて欲しい。【小田地区】

## 当日の回答

- ①角田市に場所をお願いされているので、市長から広域理事会で西根の西の入地内をお願いし、内定されています。これから造成費用などを検討し、最終的には5月頃には決定される見込みです。
- ②地元の合意を得るため、毛萱地区で11月20日に説明会を行っています。供用開始が平成28年度の予定です。
- ③毛萱字丸森地区と枝野地区での整備事業費用の差が約20億円にもなります。しかし、枝野・藤尾地区からの絶対反対との書面が出されたことから、新たな候補地として毛萱トンネル手前の西の入地区が当局から提示され、全会一致で建設予定地に決定されました。
- ④機種は仙南地域広域行政事務組合で、おそらく機種選定委員会のようなものを立ち上げて決められると思われるが、現在の主流はガス化熔融炉なので、おそらくその機種になると思われます。分別については、何でも処理できる炉であっても、容器包装リサイクル法(平成19年改正)があるし、ゴミ減量化の面からも分別は必要です。
- ⑤山林地権者13人からは内諾をもらっているそうです。地元への説明は今後も充分果たしていかなければなりません。
- ⑥角田市議会においても『ごみ処理等対策調査特別委員会』を設置しております。今後も詳細にわたり調査・検討して参ります。
- ⑦施設の規模は、一日当たり処理量が、225トン、建設費で本体だけで約100億円の計画となっております。しかし、この計画は、平成12~13年ころからの計画であります。また、ごみ減量化に取り組んでいる効果も出ているなどから、今後、より実態に合った具体的な計画を策定していけば、もう少し規模・予算とも縮小されるのではないかと



みております。

⑧その通りです。理事会の内定の段階となっています。

⑨基本的には、現在は燃やすのみの炉や溶鉱炉タイプなど、色々な炉があり、これから仙南地域広域行政事務組合で決めます。最終処分場(白石)は、平成30年頃で満杯になると言われています。延命策として、埋まっている不燃ごみを再度、新グリーンセンターで焼却して小さくし、延命化を図ることも考えられています。どんな機種が選ばれるかはまだ分かりません。

⑩次世代型ではスラグが数%です。アスファルトに使用するなど研究している段階です。新しい処分場も土地も確保してはいるが、今以上に使わない方向で進むのかなという段階です。仙南広域で西の入地区に新グリーンセンターの場所として内定したが、様々な調査をした後、来年の5月頃に造成費などが試算される。直営にするか民営化にするかも併せて検討していくことになります。

**今後の取組み**

(仮称)仙南グリーンセンター建設については、西根の毛萱字丸森地区に建設できないか検討を重ねてきたが、議会との考え方が一致しないため、新たな候補地の選定を進めてきました。選定する条件として、仙南2市7町からのごみを収集する地理的条件、建設費用の軽減、環境負荷への低減、そしてこれまでの毛萱地区民との繋がりをいろいろと考慮し、毛萱地区の西ノ入地内(毛萱トンネル手前の南側山林一帯)を選定し、議会から全会一致で同意を得るとともに、最終的な決定機関である仙南広域事務組合の理事会でもこの西ノ入地内で承認されています。ごみ焼却施設は現在、角田市と大河原町の2か所にあるがこれを1か所に統合して、新たに(仮称)仙南グリーンセンターとして整備することになります。この施設は環境への影響に配慮し、国の基準値よりさらに低い基準値を設定し、24時間稼働のごみ焼却施設で建設には100億円を超えるものと見込んでいますが、造成する面積やどのような焼却炉の型式を採用するのかなど今後詳細に検討し、平成28年度の供用開始に向けて対応したいと考えているので、ご理解をいただきたいと思っております。【回答:政策企画課】

**No. 14**

**意見・質問・要望等**

新ごみ処理施設問題について、石川町、須賀川市を視察の途中、急遽、この建設予定地を見てきた。交通量が多くなり、あまりにも狭すぎると実感した。問題ないのか。【横倉地区】

**当日の回答**

2市7町で、一日約100台の車の搬入がある。交通量が増えてくるので、その対策は必要となるでしょう。

**今後の取組み**

ごみの焼却施設は、山林を切り開いて造成するもので施設整備に必要な広さは確保できると考えています。【回答:政策企画課】

**No. 15**

**意見・質問・要望等**

現在の角田の処分場の冷却水は、白石の最終処分場から持ってきているようだが、それが無くなったらどうするのか。【東根地区】

**当日の回答**

最終処分場から持ってきていますが、全く足りない量です。ほとんどは水道水で行っています。最終処分場で捨てられないので持ってきています。最終処分場で処理された水なのかどうかは調査します。

**今後の取組み**

角田衛生センターで利用している冷却水は、経費の削減を図るため白石の最終処分場で処理された水で全量賄っている。最終処分場の水で足りない場合は上水道の利用となる。【回答:政策企画課】

No. 16

**意見・質問・要望等**

①ごみ焼却炉について、毛萱丸森地区で話し合いがあった時、汚水はどこに流すのかと聞いたら、機種が決まってから話をするなどと言っていたが、話もないまま、西の入地区に決まったと聞いた。役員会ばかり開いて、区全体の人に話していない。地権者にも、もっと話を浸透させるべきだ。市の職員ももっと区を大事にすべきだ。市長は『広報かくだ』で、丸森地区に遺漏なきよう対応すると言っている。丸森地区民は、西の入に賛成するから、12区のことも考えてほしい。公民館建設、道路改良をしてほしい。口約束だけではなく、市の職員は人事異動で職場が変わるので、書面を取り交わしたい。【西根地区】

②焼却炉建設場所は毛萱西の入地区で決定か。【西根地区】

③枝野地区での焼却場建設に反対があったようだが、毛萱地区では

**当日の回答**

①平成14年からご迷惑をおかけしております。議長あて、市当局あてに要望書を提出してみてもいいかがですか。議会としても枝野地区、毛萱地区の皆さんに遺漏なきよう、市長に提案します。12月6日に仙南地域広域行政事務組合の理事会があるので、市長はそれと言ってほしいです。

②角田市議会では9月29日に同意している。仙南広域では、角田市議会の決定を尊重すると言っている。その場所は大河原町にも近いことから、大河原の住民にも地元対策が必要であるという声も出ています。

③毛萱丸森地区は平成14年から取組み、いろいろなことはありましたが、ほぼご理解を頂いた段階にきていました。議会には正式に提案はされていない。議決もしたことがない。機種も決まらないのに場所を先に決めて動いているのはどういうことかと仙南広域行政事務組合に質問してきましたが、何の回答もきていない。枝野地区、毛萱地区、西ノ入地区では大変迷惑をかける。その意味での周辺対策費も含めた運用で仙南広域に対して説得してきて欲しいと市長へ強く要望しました。

**今後の取組み**

①②はNo.11のとおりです。

③毛萱地区民の方々へは昨年11月に、クリーンセンター整備計画の概要や今後の整備スケジュールを説明し、施設の安全性や大雨時の災害対応、建設地がなぜ変更になったのかなどの意見が寄せられていますので、十分にご理解をいただくために誠心誠意取り組んでいきたいと思えます。【回答:政策企画課】

No. 17

**意見・質問・要望等**

新ごみ焼却場の建設用地変更に伴い、丸森地区への補償はないのか。【角田地区】

**当日の回答**

今の時点ではないです。広く住民の声を聞いてきたために、財政的な観点などから二転三転して、結果的に最初に合意していただいた丸森地区が消えてしまったが、この経緯を理解していただけるような誠心誠意の説明会は当然必要だと思えます。

**今後の取組み**

計画上の建設地は、丸森地区から西ノ入地区へと変更になりましたが、同じ毛萱地区内であるので、丸森地区を含めた、西根11・12・13区への地元対策をどのように講じていかなければなりません。現在、地区民の方々と相談しているところです。【回答:政策企画課】

No. 18

**意見・質問・要望等**

- ①新ごみ焼却施設と大河原にある焼却場との2か所になるのか。
- ②新ごみ焼却施設の耐用年数はどれほどなのか。人口減と共にごみ排出量はどうか変わっていくのか。
- ③新ごみ焼却場は、今の規制値に対応して建てた場合何十年もつのか。更に規制が厳しくなった場合は、焼却炉だけ作り変えるのか。
- ④ごみ焼却処理の時に発生する熱をうまく利用する事業はできないのか。【桜地区】

**当日の回答**

- ①大河原は廃止され、新ごみ焼却施設1か所に統合になります。
- ②平成28年度までに広域圏で人口は約3千人減少し、ごみの総排出量も約2千トン減少し6万2千200トンと予測しています。機種などもまだ決まっていないので、施設の耐用年数については後でお知らせ致します。
- ③即答できかねるので後日お知らせ致します。大気汚染等の規制には、当然対応していくことになります。
- ④温水を引いて保養所をしているところも各地にあるが、視察をしてみるとさらに多額の設備投資をして、自治体の大きな財政負担になっているところがほとんどです。余熱を利用した発電により、ある程度の場合での電力利用は可能ですが、場外施設への電力や温水利用には採算面も考慮した計画が必要となってきます。余熱活用についてはさらに検討してまいります。

**今後の取組み**

- ①現在のごみ焼却施設は、角田市と大河原町にそれぞれあるが、これを統合して新たに(仮称)仙南クリーンセンターとして整備することになります。
- ②ごみ焼却施設は建屋、機械設備、焼却炉などそれぞれ耐用年数が異なるが、できるだけ長く使用できるよう努めていきます。
- ③大気汚染の防止として、ダイオキシン類やばいじんなどの基準値は、国の基準値よりさらに低い基準値で対応出来る施設を整備することで計画しています。
- ④ごみ焼却施設は、ごみを焼却する際に発生する熱を最大限利用するエネルギー供給施設と位置付けており、余熱については、施設内で利用する電気に利用するとともに、規模にもよるが福祉施設等などへ温熱供給できるものと考えています。【回答:政策企画課】

No. 19

**意見・質問・要望等**

(仮称)仙南クリーンセンター建設について、市長と広域の話し合いになると思うが、仙南広域へ支払う負担金はどうなっているのか。ちなみに青木地区の衛生センターの負担金はいくらですか。【小田地

**当日の回答**

負担の少ない、効率のよい施設を設置しようというのが、我々の狙いです。青木の負担金は、運営費全体の26.7%位です。

**今後の取組み**

ごみ焼却施設の建設費用には、大まかに言いうと国からの補助以外は2市7町からの負担金(借金した公債費の元利償還を含む。)で賅うこととなります。100億円を超える費用が見込まれているので今後詳細を検討して費用を算出した上で構成市町が負担することとなります。また、平成22年度の角田衛生センター(ごみ処理分)負担金は69,575(千円)となっています。【回答:政策企画課】

No. 20

**意見・質問・要望等**

- ①新ごみ処理場の建設地は角田市内なのに、なぜ白石市長名の新聞記事が出たのか。
- ②改修後、施設見学に行ったら24時間稼働ということを知った。どうして。
- ③かつて角田のごみ焼却場は、ごみの量が少なくて連続運転が出来ないと言っていたが、今はごみが多いから減らせと言っている。矛盾している。【角田地区】

**当日の回答**

- ①ごみ処理に関する管理運営は仙南地域広域事務組合で行っており、現在の理事長は白石市長のためです。
- ②ダイオキシン発生を抑えるためには焼却時の温度を下げないのが基本なので、24時間連続焼却をすることで、高温を保っています。
- ③もともと角田市と丸森町だけの焼却場でしたが、各自治体の焼却場の老朽化に伴い現在の基準に適合した改修をして、いまは2市5町分のごみ焼却を24時間稼働で行なっています。大河原と柴田の分は大河原の焼却場で処理していますが、28年度からは角田市に建てる新ごみ処理場に一本化されます。ごみを減らせと言いつつ、1日処理能力75t×3炉で225tもの焼却炉を計画しており、数字の整合性が取れていません。2炉は連続稼働させて1炉はメンテナンスのために一時休ませる必要もあります。ただし現在のごみの排出量状況や将来にわたる排出量の推移を考慮して、ごみを減らしながら過剰投資にならないような処理施設の計画が必要になります。

**今後の取組み**

当日の回答の通りです。【回答:政策企画課】

No. 21

**意見・質問・要望等**

グリーンフィールド市との交流20周年記念行事への出席に、なぜ891万円も使って行ったのか。【角田地区】

**当日の回答**

グリーンフィールドの件は、議会でも揉めましたが最終的には当局から減額提示されましたので認められました。ケーヒンのアメリカ進出工場ができた縁で始まった姉妹都市交流なので今後も効果や経過をチェックしていきますが、全部が無駄だということは無いのでご理解ください。10月に派遣された訪問団の確かな費用内容の詳細については後日お知らせいたします。

**今後の取組み**

グリーンフィールド市とは、誘致企業である(株)ケーヒンが、昭和63年にグリーンフィールド市に合弁企業を設立したのを契機に、民間企業による経済交流が発端となり平成2年に姉妹都市締結を行っている。平成3年度から「中・高校生」を相互に派遣、受入するウイング事業により、相互に学校訪問、市内施設見学や表敬訪問、さらにホームステイも活発に行ってきており、姉妹都市の人々を友人として迎え入れ、異文化に接する新鮮さと高揚感を感じ、国際理解を深めてきた。また、職員等の相互交流や平成12年には姉妹都市締結10周年記念受入事業や派遣事業により両市の文化交流を行ってきた。平成22年は姉妹都市締結20周年の節目に当たり受入事業、派遣事業により相互交流を実施し、改めて姉妹都市であるという事を再認識するとともに、これまで続けてきた交流の歩みを振り返り、将来にむけてより一層の発展と推進を図ったものである。なお、20周年記念事業については、当初の計画を見直し約320万円程度になる見込みである。【回答:政策企画課】

No. 22

**意見・質問・要望等**

①高規格道路の運動公園辺りに人々が集う場(道の駅)の様なものの考えはありますか。前市長の時、構想を聞きましたが、その後どうなっていますか。

②藤尾地区振興協議会でも道の駅等の必要性があるとの声がかなりあります。実現に向けてお願いします。【藤尾地区】

**当日の回答**

①正式ではないが、前市長時代に構想はあったようです。運動公園周辺には年間30万人ぐらいの方々が利用されている振興策として、道の駅の様な施設を公設民営で検討しているようです。

②農地法の制約もあり大変ですが、当局も考えがあるようです。この周辺の振興策を議会としても検討させていただきます。

**今後の取組み**

「道の駅」の整備計画については、平成14年4月に策定した「あぶくま川河川空間整備基本構想」を推進していく過程で俎上に載ったことはありますが、角田市新長期総合計画(第4次計画)などの市の計画でプランニングされたことは特にありませんでした。

平成22年9月に県道角田山下線に角田山元トンネルが開設されたことにより、角田中央公園周辺の交通量が増えることは当然予想される場所です。現在策定中の第5次長期総合計画において、地元農産物などの販売や観光情報を発信できる「賑わいの交流拠点施設」の整備を総合体育館周辺で計画しているところです。【回答:政策企画課】

No. 23

**意見・質問・要望等**

総合体育館の近くに道の駅のようなものを作るといった話はどうなったのか。【桜地区】

**当日の回答**

角田中央公園周辺に道の駅のような賑わい交流拠点をつくらうということで、今度の長期総合計画に盛り込まれると聞いています。ただし、詳細は決まってはいません。

**今後の取組み**

「道の駅」の整備計画については、平成14年4月に策定した「あぶくま川河川空間整備基本構想」を推進していく過程で俎上に載ったことはありますが、角田市新長期総合計画(第4次計画)などの市の計画でプランニングされたことは特にありませんでした。

平成22年9月に県道角田山下線に角田山元トンネルが開設されたことにより、角田中央公園周辺の交通量が増えることは当然予想される場所です。現在策定中の第5次長期総合計画において、地元農産物などの販売や観光情報を発信できる「賑わいの交流拠点施設」の整備を総合体育館周辺で計画しているところです。【回答:政策企画課】

No. 24

**意見・質問・要望等**

北方領土返還の要望の署名が回ってきた。戦後60年、少しも進展がない。議会の考えを聞きたい。【西根地区】

**当日の回答**

日本国民として、また地方議員として、意見書等に取り組んでいきます。

**今後の取組み**

当日の回答の通りです。【回答:総務課】

No. 25

**意見・質問・要望等** ①行政と市民とが、「これからの角田市をどうしようか？」について、話し合える場をもっと積極的に作っていただきたい。【角田地区】  
②議員・市長と身近に話せる場面があれば良い。傍聴はただ聞くだけだ。【小田地区】

**当日の回答** ①議会として思いをしっかりと受け止めて今後議会活動を進めてまいります。  
②直に話す場面は無いが、場という形ではこのように設定しています。地域に出向いて話を伺うようにしています。身近に話し合える場づくりを考えています。市長からの提案を是非するスタイルから、市民の声の集約・政策化していくのが今回の議会基本条例に見られる動きです。

**今後の取組み** 地区や行政区における懇談会の開催を検討し、市民と対話の場をつくっていきます。【回答:総務課】

No. 26

**意見・質問・要望等** 指定管理者制度の目的は何ですか。天下りの温床にならないのか。【桜地区】

**当日の回答** 民間の発想と競争力の導入、財政的な効果も期待しています。ふさわしい人材が配置されているかといった監視や提案も議会の仕事になってきます。市内に競争する会社が無いのも現実で、悪ければ元に戻すこととなります。

**今後の取組み** 公の施設の管理を民間事業者の手法を活用し管理経費を縮減したり、民間の経営ノウハウにより利用者に対するサービスの向上を図ることが期待され、本市においては18年度から取り入れてきたところ  
です。  
現在、14施設が指定管理を受けていますが、これまでの経緯や地域雇用の面からほとんどの施設が非公募の形態で進めてきたところ  
であります。今後、指定替えの時期を迎えますので、本市と行政規模  
が似たような自治体の手法なども研究し、多様な人材の確保が図ら  
れるよう進めていきたいと思えます。【回答:政策企画課】

No. 27

**意見・質問・要望等** 地域振興公社は市の職員と待遇、給料がまったく同じで天下りだ。市長はいっさい天下りはしていないと言っているが公募はしていない。【角田地区】

**当日の回答** 当局に伝えます。

**今後の取組み** 本市では18年度から指定管理者制度を導入してきていますが、多くの施設がこれまでの経緯や地域雇用の面から非公募の形態で進めてきたところ  
であります。今後、指定替えの時期を迎えますので、本市と行政規模が似たような自治体の手法なども研究し、多様な人材の確保が図られるよう進めていきたいと思えます。【回答:政策企画課】

## No. 28

**意見・質問・要望等** 市職員の採用について、市内からの採用を考えていただきたい。【角田地区】

**当日の回答** 難しい問題ではありますが、当局に伝えます。

**今後の取組み** 採用基準に住所要件の制限をかけることは、受験者に対する平等を欠くこととなりますので、採用基準からはずしております。【回答:総務課】

## No. 29

**意見・質問・要望等** 土地関係の相続手続きで税務課に何回か通った。会社勤めで休みをもらって手続きをしているので、何回もJAと税務課を往復するのは大変だ。対応不備である。市役所は3年くらいのローテーションで職員が配置換えになるから分からなくなるんだ。【小田地区】

**当日の回答** 謝るだけです。

**今後の取組み** 人事異動は、能力の開発、労働意欲の向上、労働力の効率的活用が挙げられます。ご指摘の件につきましては、今後、適正な人事配置を心がけて対応していきます。【回答:総務課】

窓口対応に不備があったとすれば、陳謝いたします。

土地の相続登記の件と思われそうですが、登記申請の窓口は仙台湾務局大河原支局(以下「法務局」という。)であり、登録免許税に係る添付書類として資産証明(有料)若しくは、固定資産価格決定通知書(無料)が必要となります。

この固定資産価格決定通知書による場合は、法務局で同通知依頼書(登記官の押印のあるもの)を受領後、市税務課で土地の決定価格(評価額)を記載、市長印を押印した同書類を再度法務局へ提出することとなります。【回答:税務課】

## No. 30

**意見・質問・要望等** 国保年金課の対応について、年金連合会から書類を出すように言われたが、市役所の窓口では出す必要はないと言われたが、どうなっているのか。  
また、3年前に社会保険事務所と年金課を3往復させられた。仕事を休んでの貴重な時間なので、もっと親切にしてほしい。【小田地区】

**当日の回答** 窓口の対応についてお詫びします。十分な説明がなされていないように見受けられます。職員の個人差もあると思いますが、部課長さんに責任を持って話しておきます。

**今後の取組み** 年金のことで市民の方が来庁したときは、加入又は受給している年金の種類によって受付が市役所でない場合や、個人によって手続きや揃える書類が違う場合もありますので、大河原年金事務所等と連絡を取り合い、対応しています。今後、市民の方に余計な手間がかからないように、なお一層、配慮していきます。【回答:保険年金課】

## No. 31

**意見・質問・要望等** 地区の人に、市役所に行っても市民課の窓口に笑顔が無いとよく言われます。【小田地区】

**当日の回答** 陳謝いたします。当局に伝えたいと思います。

**今後の取組み** 笑顔と余裕をもって親切な窓口対応ができるように更に努力してまいります。ご意見は真摯に受け止めていきたいと思ひます。【回答：総務課】

窓口では常にあいさつをするよう心がけております。お客様に対しては親切・丁寧を目標に気持ちの良い対応をしたいと日々努力をしております。【回答：市民課】

## No. 32

**意見・質問・要望等** 住宅入居問題だが、隣町の人から住宅の相談を受けたので、市役所に行って確認したら『今日が締切日だから間に合いません』と言われた。それなのに、その時空いていた住宅がその日までに入居の申請が無かったため、翌月に持ち越され、且つ翌月は抽選となり、その人は抽選が外れて、未だ入居できずにいる。始めに窓口へ行ったときに、誰も申請がなかったならば、もっと違う対応の仕方があるのではないか。全く不親切だ。【小田地区】

**当日の回答** 窓口の対応についてお詫びします。十分な説明がなされていないように見受けられます。職員の個人差もあると思ひますが、部課長さんに責任を持って話しておきます。

**今後の取組み** 相談を受けた方が申し込み締切日に土木建築課に来られて担当者から『締切日だから間に合いません』と言われたとのことですが、申込者(隣町の方)が必要書類を当日中に準備して、申請を行なえなかったようです。その月は申込者がいなかったため、翌月に再度募集いたしました。その時は、複数の申込みが有り当選されなかったようです。前月に申し込まれていれば無競争で入居できたと思われまますが、締切期日を厳守していることをご理解ください。  
また、『申請が無い時の対応』についてですが、公平性を確保するため他の方の申込情報などの個人情報をお知らせしていないことをご理解ください。  
なお、市営住宅空き家情報は、広報や市ホームページでお知らせしておりますが、これからも丁寧かつ十分な説明を心がけてまいります。【回答：土木建築課】

## No. 33

**意見・質問・要望等** 民間は赤字だとボーナスは出さない。地方自治体は、みんな赤字なのになぜ借金してまで出すのか。【角田地区】

**当日の回答** 職員は生活給ですが、首長と議員への報酬は、責任給与つまり責任に伴う代償という考え方です。

**今後の取組み** 賞与を出すことは市の条例で定められております。財政状況の厳しい今は、支給率を減らすなどの対策をしております。【回答：総務課】



## No. 34

**意見・質問・要望等** これから益々重要な存在で一番の働き手である自治センターの主事さんの給料が12万2千円(手取り11万円)と極めて安すぎる。せめて高卒公務員の初任給程度の額の支給をお願いしたい。市長にもお願いしているが、議員さん方にもお願いしたい。【角田地区】

**当日の回答** 当局に確認したいと思います。

**今後の取組み** 時間単価では、高卒初任給よりも高いと思われませんが、今後、報酬額等の見直しを検討していきたいと考えております。【回答:総務課】

要望として承ります。なお、業務の関係や近隣の状況などを調査するとともに、関係部局とも協議してまいります。【回答:生涯学習課】

## No. 35

**意見・質問・要望等** 少ない予算の中でよりよい行政をお願いしたい。【北郷地区】

**当日の回答** 少ない予算で最大限の行政効果をあげるように市長も職員も努めなければなりません。決算時にその成果を議会に示し、議員はそれを審査しています。

**今後の取組み** 平成22年3月に角田市新行財政集中改革プランを策定し、最少の経費で最大の効果を上げるがために、事業の選択と集中に配慮した考えをもっており、特に、PDCAサイクルの着実な運用による事業の選択と見直しを進めることにしています。そうしたことにより事業の優先順位を見極め、限られた財源の中で行政経営を進めていくことにしています。【回答:政策企画課】

予算編成時及び予算の執行に当たっては、経費の節減に努め、最少の経費で最大の効果を上げるよう引き続き努めます。【回答:財政課】

## No. 36

**意見・質問・要望等** 西根中学校跡地で、グランドゴルフをしているが、雨が降ると水たまりができる。低い所に土を入れてほしい。5~6トンくらい土を入れて、ブルドーザーでならしてほしい。【西根地区】

**当日の回答** 持ち帰って担当課に話します。

**今後の取組み** ご要望のとおり、H22.12.1に作業を実施し、完了しております。【回答:財政課】

## No. 37

**意見・質問・要望等** 西根地区の戦死者の忠魂碑があるが、そこに直径1mくらいのイチョウの木があり、枝が繁茂している。近くの家屋根にもかかっている。遺族会の皆さんが相談して枝を切るか、木を切るかして欲しいと思っている。市の管理という事で、財政課で切り倒すか枝払いをしてほしい。【西根地区】

**当日の回答** 要望として当局に伝えます。

**今後の取組み** ご指摘のとおりでしたので、H22.12.6~7に枝の伐採を行い対処しました。【回答:財政課】

## 意見・質問・要望等

年始会は会費を払うが、食べられる人、食べられない人がいる。それは辞めて記念品にしたらどうか。【西根地区】

## 当日の回答

平成23年の年始交換会は、2,000円の会費で行う事になっています。お酒も食べ物も必要であるのではと思いますが、ご意見として伺います。各行政区5人ぐらいずつ出席してほしいと思います。

## ○年始交歓会の趣旨について

- ・市民とともに新年と今年1年の市政発展等を祝う。
- ・昨年の叙勲受章者を市民でお祝いする。
- ・新年当初において市民との交流を図る。

## ○平成22年1月4日年始交歓会からの改善事項

・祝宴会場が狭く、大ホールで式を行いここに参加した人が祝宴会場に入れない状況があったのを改善しました。  
 ・開催時間がお昼近くの時間帯であるため、参加者の意見と近隣市町村の状況から午後3時からとし、時間の有効活用と市内飲食店の活性化を図りました。  
 参加者からの意見を集約して改善を図った。北郷地区からの式のみ開催を検討しましたが、年始交歓会という内容・趣旨からお酒等は無くすことができませんでした。

## ○会費の500円値上げについて

・祝宴において、酒・食べ物が少ないとの意見が以前からあったことから、500円の値上げを行いました。県内の年始交歓会の会費の状況は、最低2,000円以上で(丸森町2,000円)、平均3,000円から5,000円程度の市町村が多いようです。  
 なお、1人2,000円の会費は、全て飲食代経費として充実させました。

## ○叙勲受章者へのお祝い

叙勲受章者への記念品として花束贈呈を行うとともに、当日は市民の方々への功績の紹介、さらには正月の歌やマリンバ等の演奏で楽しんでもらっています。また、高齢であることやお酒が飲めるように会場と自宅までの市公用車での送迎を行っています。

これらの経費は公費対応としています。【回答:政策企画課】